

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2012-526928

(P2012-526928A)

(43) 公表日 平成24年11月1日(2012.11.1)

(51) Int.Cl.
E05F 15/12 (2006.01)

F I
E O 5 F 15/12

テーマコード (参考)
2 E O 5 2

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 15 頁)

(21) 出願番号 特願2012-510067 (P2012-510067)
 (86) (22) 出願日 平成22年5月12日 (2010. 5. 12)
 (85) 翻訳文提出日 平成23年12月6日 (2011. 12. 6)
 (86) 国際出願番号 PCT/AT2010/000162
 (87) 国際公開番号 W02010/129981
 (87) 国際公開日 平成22年11月18日 (2010. 11. 18)
 (31) 優先権主張番号 A733/2009
 (32) 優先日 平成21年5月13日 (2009. 5. 13)
 (33) 優先権主張国 オーストリア (AT)

(71) 出願人 597140501
 ユリウス ブルム ゲー エム ベー ハ
 ー
 オーストリア国 ホッチスト A-697
 3 インダストリーストラーセ 1 番地
 (74) 代理人 110000659
 特許業務法人広江アソシエイツ特許事務所
 (72) 発明者 フリーゼンエッカー, ジェラルド
 オーストリア, エー-6923 ローテラ
 ッハ, アイエム スタイナッハ 22
 (72) 発明者 ボーフル, ウォルフガング
 オーストリア, エー-6840 ゴーチス
 , ブリッタ 45
 Fターム(参考) 2E052 AA01 CA06 EA01 KA14

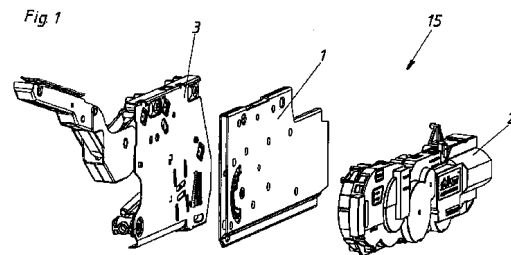
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 フラップ扉駆動システム

(57) 【要約】

本発明は、家具枠体(17)に可動状態で取り付けられているフラップ扉(18)のためのフラップ扉駆動システム(15)に関する。このシステムは、家具枠体(17)の側壁に配置されるように設計されており、フラップ扉(18)に接続可能な作動アーム(19)と、作動アーム(19)に作用する作動力蓄積手段とを備えた機械式作動装置(3)と、記フラップ扉(18)を駆動するように機械式作動装置(3)に固定され、少なくとも1つの電動モータを備えている電気駆動装置(2)と、電気駆動装置(2)から機械式作動装置(3)への作動力の伝達を担う伝達ステージ(1)とを含んでおり、伝達ステージ(1)は、機械式作動装置(3)および電気駆動装置(2)とは、独立しているハウジングまたは独立した搭載プレートを備えた独立型部品である。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

家具枠体（17）に可動状態で取り付けられているフラップ扉（18）のためのフラップ扉駆動システム（15）であって、該家具枠体（17）の側壁に配置されるように設計されており、

前記フラップ扉（18）に接続可能な作動アーム（19）と、

該作動アーム（19）に作用する作動力蓄積手段とを備えた機械式作動装置（3）と、前記フラップ扉（18）を駆動するように前記機械式作動装置（3）に固定され、少なくとも1つの電動モータを備えている電気駆動装置（2）と、

前記電気駆動装置（2）から前記機械式作動装置（3）への作動力の伝達を担う伝達ステージ（1）と、を含んでおり、

前記伝達ステージ（1）は、前記機械式作動装置（3）および前記電気駆動装置（2）とは、独立しているハウジングまたは独立した搭載プレートを備えた独立型部品であることを特徴とするフラップ扉駆動システム。

【請求項 2】

前記電気駆動装置（2）は、別の伝達ステージを備えていることを特徴とする請求項 1 記載のフラップ扉駆動システム。

【請求項 3】

前記電気駆動装置（2）から前記機械式作動装置（3）への作動力の伝達は、前記伝達ステージ（1）の伝達部（4）によって局所的に実行されることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のフラップ扉駆動システム。

【請求項 4】

前記伝達ステージ（1）の伝達部（4）は、該伝達ステージ（1）の突起部（11）が迎る移動通路の長さの増減を引き起こすことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載のフラップ扉駆動システム。

【請求項 5】

前記伝達ステージ（1）の伝達部（4）は、前記電気駆動装置（2）から前記機械式作動装置（3）へのトルクの増減を引き起こすことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載のフラップ扉駆動システム。

【請求項 6】

前記伝達ステージ（1）は、前記電気駆動装置（2）を搭載させる少なくとも1つの駆動装置搭載部（14）を備えていることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれかに記載のフラップ扉駆動システム。

【請求項 7】

前記伝達ステージ（1）は、前記家具枠体（17）に固定されることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれかに記載のフラップ扉駆動システム。

【請求項 8】

前記伝達ステージ（1）は、前記機械式作動装置（3）に固定されることを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれかに記載のフラップ扉駆動システム。

【請求項 9】

前記伝達ステージ（1）は、前記電気駆動装置（2）に固定されることを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれかに記載のフラップ扉駆動システム。

【請求項 10】

前記伝達ステージ（1）は、前記機械式作動装置（3）が前記家具枠体（17）に既に取り付けられている場合にでも該機械式作動装置（3）また該家具枠体（17）に固定されることを特徴とする請求項 1 から 9 のいずれかに記載のフラップ扉駆動システム。

【請求項 11】

前記機械式作動装置（3）と、前記伝達ステージ（1）と、前記電気駆動装置（2）とは、それらの側面（32、6、5、21）が互いに接するように連結されていることを特徴とする請求項 1 から 10 のいずれかに記載のフラップ扉駆動システム。

10

20

30

40

50

【請求項 1 2】

前記機械式作動装置(3)と、前記伝達ステージ(1)と、前記電気駆動装置(2)とは、解放可能に組み立てられることを特徴とする請求項1から11のいずれかに記載のフラップ扉駆動システム。

【請求項 1 3】

家具枠体と、該家具枠体に可動状態に取り付けられたフラップ扉とを備えた家具であって、該家具枠体(17)に取り付けられた請求項1から12のいずれかに記載のフラップ扉駆動システム(15)を備えていることを特徴とする家具。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】**

10

【0001】

本発明は、家具枠体に可動状態に取り付けられたフラップ扉のためのフラップ扉駆動システムに関する。

【背景技術】**【0002】**

このフラップ扉駆動システムは、家具枠体の側壁に取り付けられるものであり、フラップ扉に接続可能な作動アームおよび作動アームに作用する作動力蓄積手段を有した機械動作式作動装置(以降“機械式作動装置”)と、フラップ扉を駆動するために機械式作動装置に固定されている電気駆動装置とを含んでいる。

【0003】

20

この電気駆動装置は、少なくとも1つの電動モータと、電気駆動装置から機械式作動装置に作動力を伝達させる伝達ステージとを有している。

【0004】

家具枠体に可動状態に取り付けられたフラップ扉のためのフラップ扉駆動システムそのものは、既に知られており、例えば特許文献1において解説されている。

【先行技術文献】**【特許文献】****【0005】**

【特許文献1】国際公開第2008/134786号パンフレット

【発明の概要】

30

【発明が解決しようとする課題】**【0006】**

その弱点は、フラップ扉駆動システムが、フラップ扉システムのためだけにサイズ化(寸法化)された機械式作動装置用に設計されているため、別の機械式作動装置には搭載できないことである。よって、それぞれの機械式作動装置のために特定サイズの電気駆動装置を製造することが必要となり、コスト高となっていた。

【0007】

本発明の目的は、上述の弱点を克服し、従来のものに勝るフラップ扉駆動システムを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

40

【0008】

目的を達成させた本発明によるフラップ扉駆動装置では、伝達ステージは、機械式作動装置および電気駆動装置とは独立したハウジングまたは独立した搭載プレートを備えた独立型部品の形態である。

【0009】

言い換えれば、電気駆動装置または機械式作動装置の一部ではない伝達ステージが提供される。この伝達ステージは、電気駆動装置および機械式作動装置とは独立して作動できる寸法で提供できる。これは、異なる複数の機械式作動装置を1つの電気駆動装置で駆動できるという利点を有する。

【0010】

50

なぜなら、適正にサイズ化されなければならないのは、伝達ステージのみであり、電気駆動装置自体または機械式作動装置ではないからである。よってフラップ扉駆動システムで利用される様々な機械式作動システムおよび電気駆動装置のための安価で多様な形態が提供される。

【0011】

同様に、後付けで機械式作動装置に本発明の伝達ステージおよび電気駆動装置を取り付けることが可能である。なぜなら電気駆動装置の機械式作動装置への取り付けに関する全ての必要な設計要素は、伝達ステージを利用して可能となるからである。

【0012】

もし、伝達ステージにハウジングが提供されていれば、それは特に簡単に機械式作動装置に取り付けられる。あるいは、電気駆動装置は、伝達ステージに容易に搭載できる。

【0013】

本発明のさらなる好適実施態様は、従属請求項において定義されている。

【0014】

別の実施態様において、伝達ステージの伝達部が作動力伝達を電気駆動装置から機械式作動装置へ局部的に移すことができることが有利であると証明されている。従って伝達ステージは、電気駆動装置の作動力を様々な所定の位置で機械式作動装置に伝えることができる。

【0015】

この点で、伝達ステージの伝達部が、伝達ステージから機械式作動装置へと作動力を伝達する伝達ステージの突起部が迎える移動通路の長さを増加または減少させることが有利であると証明されている。よって伝達ステージは、機械式作動装置を駆動することができるが、その作動アームは、フラップ扉の開閉時にさらに長い短い移動通路を迎らなければならない。

【0016】

別の実施態様では、伝達ステージの伝達部が、電気駆動装置から機械式作動装置へのトルクを変動、すなわち増加または減少させるようにことができると有利であることが証明されている。なぜなら異なる重量のフラップ扉を好適に動かすことも可能だからである。

【0017】

この点で、伝達ステージが電気駆動装置の搭載部を有するなら特に有利である。なぜなら電気駆動装置を伝達ステージに迅速および正確な位置関係で取り付けることが可能だからである。

【0018】

同様に、伝達ステージが機械式作動装置及び/又は家具枠体に固定可能であれば有利である。なぜなら伝達ステージの取り付けは、様々な方法で行えるからである。伝達ステージが機械式作動装置に取り付けられた後に駆動装置が伝達ステージに取り付け可能であるなら同様に有利である。なぜなら、こうすることで伝達ステージは、機械式作動装置から分離される必要がなくなるからである。

【0019】

この点で、機械式作動装置が家具枠体に既に搭載されていても、伝達ステージが家具枠体または機械式作動装置に固定可能であれば特に有利である。なぜなら、伝達ステージを取り付けるのに機械式作動装置を家具枠体から取り外す必要がないからである。

【0020】

この点で、それらの側面が対面した状態となるように機械式作動装置、伝達ステージおよび電気駆動装置が連結できれば有利である。そうすれば家具枠体内の最小スペースで足りる非常にコンパクトな構造が達成される。

【0021】

機械式作動装置、伝達ステージおよび電気駆動装置が、フラップ扉駆動システムの保守管理を容易とするように解除可能に連結されていれば特に有利である。こうすればそれら装置の1つが故障しても全体的なフラップ駆動システムの交換が不要になるからである。

10

20

30

40

50

【 0 0 2 2 】

本発明の家具は、少なくとも1つの上記のフラップ扉駆動装置を特徴とする。

【 0 0 2 3 】

本発明のさらなる特徴と利点は、添付図面と共に以下で詳細に説明されている。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 2 4 】

【 図 1 】 図 1 は、本発明のフラップ扉駆動システムの分解図である。

【 図 2 】 図 2 は、組み立てられた本発明のフラップ扉駆動システムの斜視図である。

【 図 3 】 図 3 は、伝達ステージの内部を示す分解図である。

【 図 4 】 図 4 は、家具フラップ扉を動かすフラップ扉駆動システムを備えた家具を示す斜視図である。 10

【 図 5 a 】 図 5 a は、フラップ扉駆動システムの設置と組み立ての手順を示す概略図である。

【 図 5 b 】 図 5 b は、フラップ扉駆動システムの設置と組み立ての手順を示す概略図である。

【 図 5 c 】 図 5 c は、フラップ扉駆動システムの設置と組み立ての手順を示す概略図である。

【 図 5 d 】 図 5 d は、フラップ扉駆動システムの設置と組み立ての手順を示す概略図である。

【 図 5 e 】 図 5 e は、フラップ扉駆動システムの設置と組み立ての手順を示す概略図である。 20

【 符号の説明 】

【 0 0 2 5 】

1 . . . 伝達ステージ

2 . . . 電気駆動装置

3 . . . 機械式作動装置

4 . . . 伝達部

5 . . . 右側ハウジング部

6 . . . 左側ハウジング部

7 . . . ピン受領手段のギヤ

8 . . . ピン受領手段

9 . . . 仲介ギヤ

1 0 . . . 突起部のギヤ

1 1 . . . 突起部

1 2 . . . 電気駆動装置のピンのための開口部

1 3 . . . 突起部のための開口部

1 4 . . . 駆動装置搭載部

1 5 . . . フラップ扉駆動システム

1 6 . . . 家具

1 7 . . . 家具枠体

1 8 . . . フラップ扉

1 9 . . . 作動アーム

2 0 . . . 電気駆動装置のピン

2 1 . . . 電気駆動装置の左側面

3 1 . . . 機械式作動装置の左側面

3 2 . . . 機械式作動装置の右側面

D 1 . . . 機械式作動装置 3 の幅

D 2 . . . 伝達ステージ 1 の幅

D 3 . . . 電気駆動装置 2 の幅

【 発明を実施するための形態 】

30

40

50

【 0 0 2 6 】

図 1 は、機械式作動装置 3、伝達ステージ 1 および電気駆動装置 2 を含んだフラップ扉駆動システム 15 を図示する。図 1 で示すように伝達ステージ 1 は、機械式作動装置 3 と電気駆動装置 2 から分離した独立部品である。

【 0 0 2 7 】

図 2 は、3つの構造物、すなわち伝達ステージ 1、電気駆動装置 2 および機械式作動装置 3 が連結されている状態のフラップ扉駆動システム 15 を図示する。

【 0 0 2 8 】

図 3 は、右側ハウジング部 5 と左側ハウジング部 6 とを含んだ伝達ステージ 1 の分解図である。それらハウジング部の間には、伝達部 4 が提供されている。電気駆動装置 2 のピン（ここでは非図示）は、右側ハウジング部 5 の開口部 12 を通してピン受領手段（穴）8 内に導入される。一方、突起部 11 は、左側ハウジング部 6 の開口部 13 を通して機械式作動装置 3 の対応するピン受領手段（非図示）に作用する。

10

【 0 0 2 9 】

電気駆動装置 2 は、伝達ステージ 1 の駆動装置搭載部 14 に搭載される。この場合、電気駆動装置 2 のピンは、ピン受領手段 8 内に挿入される。電気駆動装置 2 のピンは、仲介ギヤ（歯車）9 と突起部 11 によって機械式作動装置を駆動する。

【 0 0 3 0 】

この実施例は、機械式作動装置 3 への作動力伝達部の横方向移動と、ギヤ（7、9、10）の適当なサイズ化によるトルクの増減との両方に関与する。伝達ステージ 1 の駆動装置搭載部 14 の外形は、この電気駆動装置 2 を複数の異なる機械式作動装置 3 および複数の異なる伝達ステージ 1 のために使用させる。ギヤ 10 の適したサイズ化、並びにギヤ 10 の突起部 11 の位置取りの適した選択は、突起部 11 が辿る移動通路の長さの増減を可能にする。伝達ステージ 1 によって位置の変化もトルクの変化も起こらないようにも伝達ステージ 1 が設計できることは理解されるであろう。

20

【 0 0 3 1 】

図 4 は、家具枠体 17 と、それに対して可動であるフラップ扉 18 とを有した家具 16 の斜視図である。この実施例では、フラップ扉 18 は、内側に旋回する形態である。他の知られたタイプのフラップ扉の全てが利用できる。少なくとも一つのフラップ扉駆動システム 15 がフラップ扉 18 を動かすために家具枠体 17 の側壁に固定できる。

30

【 0 0 3 2 】

フラップ扉駆動システム 15 の電気駆動装置 2 は、機械式作動装置 3 に取り付けられた伝達ステージ 1 により作用する。機械式作動装置 3 は、この実施例では、レバー機構である作動アーム 19 を有している。

【 0 0 3 3 】

フラップ扉 18 は、作動アーム 19 によってさらに連続的に可動である。機械式作動装置 3 の作動アーム 19 は、1 体型レバーの形態であっても構わず、または機械式作動装置 3 は、例えば、別のレバーアームがさらに接続されてフラップ扉 18 を動かす駆動スタブ部材を備えて設計することもできる。

40

【 0 0 3 4 】

図 5 a から図 5 e は、家具枠体 17 の側壁での家具駆動システム 15 の設置および組み立て手順を示す概略図である。

【 0 0 3 5 】

図 1 と図 2 に示すように、機械式作動装置 3、伝達ステージ 1 および電気駆動装置 2 は、連結を可能にしている平坦な側壁を備えて形成されている。

【 0 0 3 6 】

図 5 a は、可能な設置の変形を示す。ここでは、第 1 ステップとして機械式作動装置 3 は、家具枠体 17 の側壁に左側面 31 で固定される。反対側の側面 32 では、機械式作動装置 3 は、プレート形態である（図 1 参照）。機械式作動装置 3 は、非常に狭い幅 D1 であり、1 好適実施例では、幅 D1 は、2 cm から 3 cm 未満である。

50

【 0 0 3 7 】

図 5 b で示すように、これもプレート形状である伝達ステージ 1 の左側ハウジング部 6 は、機械式作動装置 3 の側面 3 2 に固定される。作動力の伝達は、突起部 1 1 によって実行される（図 3 参照）。この場合、突起部 1 1 は、機械式作動装置 3 の側面 3 2 と伝達ステージ 1 の側面 6 とが互いに平面で接する（図 5 c 参照）ように機械式作動装置 3 内に延び入る。機械式作動装置 3 との関係で上記したように、伝達ステージ 1 も平坦形状であり、この好適実施例では、幅 D 2 は 2 c m 未満である。

【 0 0 3 8 】

伝達ステージ 1 の右側ハウジング部 5 もまた平坦プレート形状であり、そこには、これも平坦プレート形状である電気駆動装置 2 の左側面 2 1 が接する（図 5 d）。伝達ステージ 1 の作動力の伝達は、電気駆動装置 2、ピン受領手段 8（図示せず、図 3 参照）に挿入される電気駆動装置 2 のピン 2 0 によって実行される。

10

【 0 0 3 9 】

電気駆動装置 2 の左側表面 2 1 と伝達ステージ 1 の右側表面 3 2 が平坦面で接するように（図 5 e）ここでもピン 2 0 は、伝達ステージ 1 内に進入する。電気駆動装置 2 は、4 c m から 5 c m 未満である好適な幅 D 3 である非常に平坦な構造のものである。

【 0 0 4 0 】

従って、設置された状態におけるフラップ扉駆動システム 1 5 のための全幅が関与する。この幅は、機械式作動装置 3 の幅 D 1 + 伝達ステージ 1 の幅 D 2 + 電気駆動装置 2 の幅 D 3 となる。これは、伝達機構（ピン 2 0 および突起部 1 1）が対応する装置（伝達ステージ 1 および機械式作動装置 3）内に進入することで達成可能である。

20

【 0 0 4 1 】

伝達ステージ 1 が機械式作動装置 3 に、電気駆動装置 2 が伝達ステージ 1 に表面 3 2、6、5 および 2 1 で接する事実によって、非常にコンパクトな構造が達成される。プラグ式接続によって電気駆動装置 2 は、伝達ステージ 1 に接続でき、伝達ステージ 1 は、機械式作動装置 3 に接続できるので、それらを互いから容易に解放させることも可能である。

【 0 0 4 2 】

これら全部で 3 つである装置 1、2 および 3 の全体構造物は、家具枠体 1 7 の側壁に非常にコンパクトに設置でき、家具枠体 1 7 内では、少量のスペースを占めるだけである。

【 0 0 4 3 】

本発明は、以上に説明した実施例の手段により解説されているが、本発明は、これら実施例には限定されない。本発明を実施する特徴の改良は、十分に可能であり、望ましいことである。

30

【 図 1 】

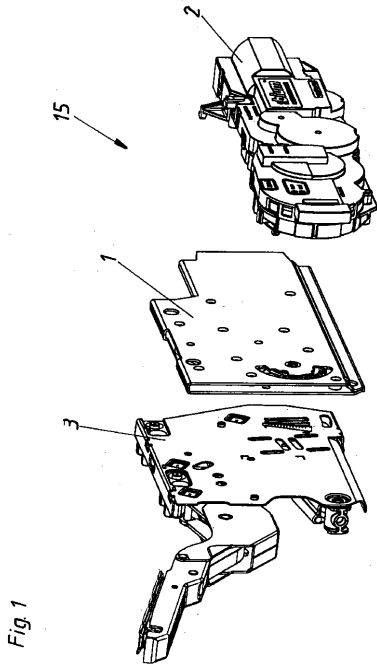
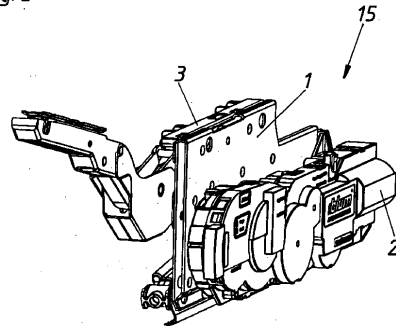


Fig. 1

【 図 2 】

Fig. 2



【 図 3 】

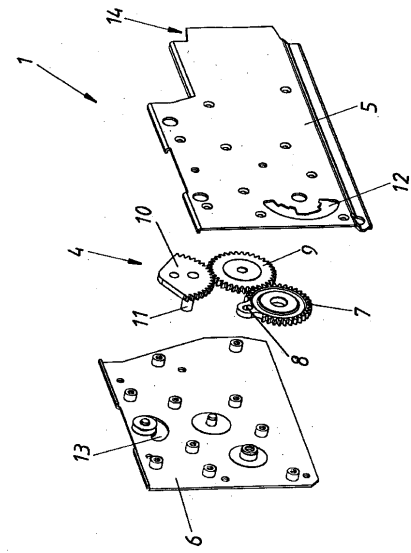
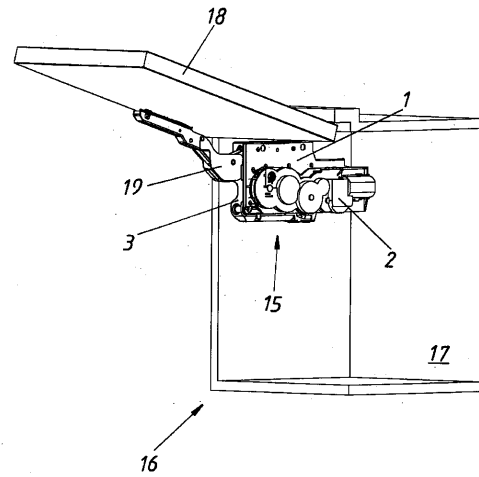


Fig. 3

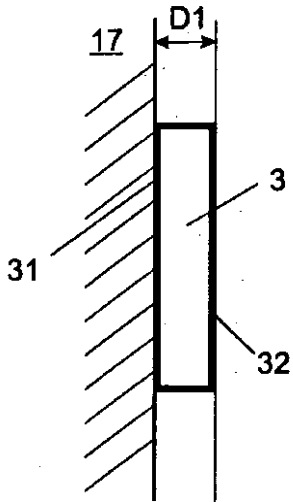
【 図 4 】

Fig. 4



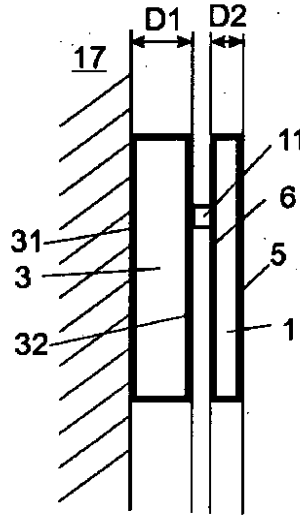
【 図 5 a 】

Fig. 5a



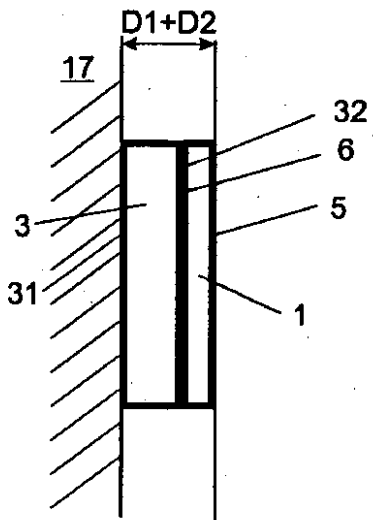
【 図 5 b 】

Fig. 5b



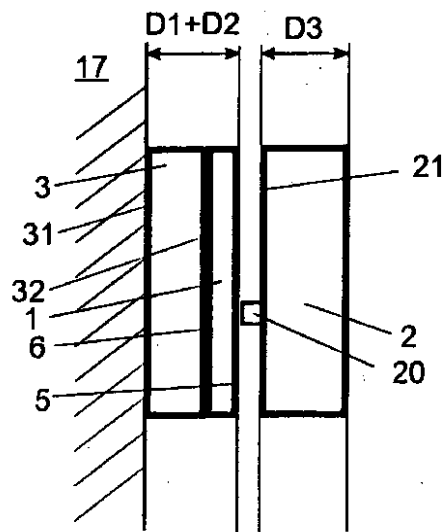
【 図 5 c 】

Fig. 5c



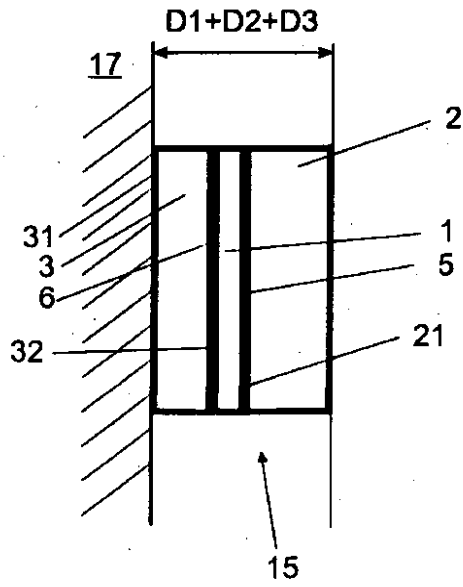
【 図 5 d 】

Fig. 5d



【 図 5 e 】

Fig. 5e



【 国際調査報告 】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No
PCT/AT2010/000162

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER INV. E05F15/12 ADD.		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED		
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) E05F		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practical, search terms used) EPO-Internal		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	WO 2008/134786 A1 (BLUM GMBH JULIUS [AT]; MATTLE KLAUS [AT]) 13 November 2008 (2008-11-13) cited in the application page 6, paragraph 3; figure 2	1,13
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input checked="" type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents : "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier document but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art. "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 19 August 2010		Date of mailing of the international search report 27/08/2010
Name and mailing address of the ISA/ European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel: (+31-70) 340-2040, Fax: (+31-70) 340-3016		Authorized officer Van Kessel, Jeroen

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No

PCT/AT2010/000162

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
WO 2008134786 A1	13-11-2008	AT 505126 A1	15-11-2008
		CN 101675204 A	17-03-2010
		EP 2142740 A1	13-01-2010
		US 2010026153 A1	04-02-2010

INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT

Internationales Aktenzeichen PCT/AT2010/000162

A. KLASSIFIZIERUNG DES ANMELDUNGSGEGENSTANDES INV. E05F15/12 ADD.		
Nach der Internationalen Patentklassifikation (IPC) oder nach der nationalen Klassifikation und der IPC		
B. RECHERCHIERTE GEBIETE		
Recherchierter Mindestprüfstoff (Klassifikationssystem und Klassifikationssymbole) E05F		
Recherchierte, aber nicht zum Mindestprüfstoff gehörende Veröffentlichungen, soweit diese unter die recherchierten Gebiete fallen		
Während der internationalen Recherche konsultierte elektronische Datenbank (Name der Datenbank und evtl. verwendete Suchbegriffe) EPO-Internal		
C. ALS WESENTLICH ANGESEHENE UNTERLAGEN		
Kategorie*	Bezeichnung der Veröffentlichung, soweit erforderlich unter Angabe der in Betracht kommenden Teile	Betr. Anspruch Nr.
A	WO 2008/134786 A1 (BLUM GMBH JULIUS [AT]; MATTLE KLAUS [AT]) 13. November 2008 (2008-11-13) in der Anmeldung erwähnt Seite 6, Absatz 3; Abbildung 2 -----	1,13
<input type="checkbox"/> Weitere Veröffentlichungen sind der Fortsetzung von Feld C zu entnehmen <input checked="" type="checkbox"/> Siehe Anhang Patentfamilie		
* Besondere Kategorien von angegebenen Veröffentlichungen :		
A Veröffentlichung, die den allgemeinen Stand der Technik definiert, aber nicht als besonders bedeutsam anzusehen ist		
E älteres Dokument, das jedoch erst am oder nach dem internationalen Anmeldedatum veröffentlicht worden ist		
L Veröffentlichung, die geeignet ist, einen Prioritätsanspruch zweifelhaft erschellen zu lassen, oder durch die das Veröffentlichungsdatum einer anderen im Recherchenbericht genannten Veröffentlichung belegt werden soll oder die aus einem anderen besonderen Grund angegeben ist (wie ausgeführt)		
O Veröffentlichung, die sich auf eine mündliche Offenbarung, eine Benutzung, eine Ausstellung oder andere Maßnahmen bezieht		
P Veröffentlichung, die vor dem internationalen Anmeldedatum, aber nach dem beanspruchten Prioritätsdatum veröffentlicht worden ist		
T Spätere Veröffentlichung, die nach dem internationalen Anmeldedatum oder dem Prioritätsdatum veröffentlicht worden ist und mit der Anmeldung nicht kollidiert, sondern nur zum Verständnis des der Erfindung zugrundeliegenden Prinzips oder der ihr zugrundeliegenden Theorie angegeben ist		
X Veröffentlichung von besonderer Bedeutung: die beanspruchte Erfindung kann allein aufgrund dieser Veröffentlichung nicht als neu oder auf erfinderscher Tätigkeit beruhend betrachtet werden		
Y Veröffentlichung von besonderer Bedeutung: die beanspruchte Erfindung kann nicht als auf erfinderscher Tätigkeit beruhend betrachtet werden, wenn die Veröffentlichung mit einer oder mehreren anderen Veröffentlichungen dieser Kategorie in Verbindung gebracht wird und diese Verbindung für einen Fachmann naheliegend ist		
& Veröffentlichung, die Mitglied derselben Patentfamilie ist		
Datum des Abschlusses der internationalen Recherche	Absenddatum des internationalen Recherchenberichts	
19. August 2010	27/08/2010	
Name und Postanschrift der internationalen Recherchenbehörde Europäisches Patentamt, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Fax: (+31-70) 340-3016	Bevollmächtigter Bediensteter Van Kessel, Jeroen	

INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT

Angaben zu Veröffentlichungen, die zur selben Patentfamilie gehören

Internationales Aktenzeichen

PCT/AT2010/000162

Im Recherchenbericht angeführtes Patentdokument	Datum der Veröffentlichung	Mitglied(er) der Patentfamilie	Datum der Veröffentlichung
WO 2008134786 A1	13-11-2008	AT 505126 A1	15-11-2008
		CN 101675204 A	17-03-2010
		EP 2142740 A1	13-01-2010
		US 2010026153 A1	04-02-2010

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PE, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW